

会員各位

ASDO・JSCA 東京共催 技術研修会のお知らせ

シリーズ「風を考える」

第4回 建築物の設計で考慮すべき動的な風圧・風力、設計用風荷重

講師:東京工芸大学名誉教授 田村幸雄先生

共催 東京構造設計事務所協会(ASDO)
日本建築構造技術者協会(JSCA)

改元騒ぎが一段落して、ようやく日常が元に戻ったような昨今ですが、皆様におかれましてはますますお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より、ASDO・JSCA 共催の当技術研修会にご参加頂きありがとうございます。

現在当研修会では、昨年10月よりこれまで3回に渡ってシリーズ「風を考える」を続けております。その間、講師をお願いしております東京工芸大学名誉教授田村幸雄先生には、ご多忙中にもかかわらず、毎回素晴らしい資料の配布とともに、興味深いお話をさせて頂いております。お陰様で毎回120名を超える熱心な参加者を得て、熱気のコもった研修会となっております。今回はその最終回となるシリーズ第4回目のご案内です。

今回の講義内容につきましては、田村先生より下記の通り皆様へのメッセージを頂いております。これまで同様、建築物の設計で考慮すべき風の問題に関して、多彩なお話をご用意して頂いております。またテーマの最終回恒例となっております、講義終了後に先生を囲んでの懇談会も予定しておりますので、あわせてご参加頂きますようご案内申し上げます。

記

田村先生よりのメッセージ

第4回の講義では、建築物の空力的特性、風応答、歩行者レベルの風への形状の影響、耐風設計用の減衰定数等に関連して、以下の項目について紹介します。

- (1) 種々の形状(45種類)を持つ超高層建築物の空力的特性(平均風力、変動風力、風力のスペクトル)、ヘリカル建物のねじり角の影響、多角形断面の辺数の影響、風力の組合わせへの影響、風応答の比較、局部風圧への影響
- (2) 種々の形状(40種類)を持つ超高層建築物周辺の歩行者レベルの強風特性、最大増速率、強風域の面積、隅角部形状の影響、ヘリカル建物のねじり角の影響、多角形断面の辺数の影響
- (3) 歩行者レベルの風に対する建物高さの影響、建物幅の影響、建物サイズの影響
- (4) 耐風設計用の減衰定数、減衰の物理的要因、振幅依存性、減衰評価手法、建築物の減衰データベース、付着-滑りモデル、設計用減衰定数の予測式と標準的値

開催要項

日時 : 2019年7月2日(火) 18:00~20:00

受付 : 17時30分より

場所 : 日大理工学部駿河台校舎1号館 6階 CSTホール

プログラム: 司会 市村隆幸(株親交設計)

18:00~18:05 趣旨説明 金田勝徳(株構造計画プラス・ワン)

18:05~19:35 講演 東京工芸大学名誉教授 田村幸雄先生

19:35~20:00 質疑応答

20:10~21:30 意見交換会(懇談会)

研修会参加費: ASDO 正会員・準会員・賛助会員・会員事務所所員、JSCA 会員 ¥1,500
非会員 ¥2,000、学生 ¥500

意見交換会参加費: ¥3,000

参加希望の方は本申込用紙にご記入の上、E-MAIL または FAX にて下記まで申し込み下さい。

申込締切日 2019年6月25日(火)

問合せ先(株)親交設計 TEL 03-5215-3033

申込書送付先 e-mail:kensyu1@asdo.jp FAX:03-5215-3034

東京構造設計事務所協会 御中

2019年 月 日

7月2日(火)開催のASDO・JSCA東京共催 研修会に参加を申し込みます

氏名:

所属:

連絡先 tel:

Mail:

ASDO 会員種別 (正 準 賛助)会員 非会員 学生
意見交換会 参加 不参加

日本大学理工学部駿河台校舎1号館 案内図

